

2016 年 5 月 19 日

洪水リスクレポート No.16-002

タイの渇水状況と今後の展望



現在の状況

タイでは、4月の終わりから5月の初め（4/25-5/2）にかけて、雷を伴う嵐に起因する降雨があり、その結果、いくつかのダムに雨水が流入しました。しかしながら、ダムの水位は依然として低い状況であり、チャオプラヤ水系の主要ダムの一部も危険水域に達しています。

これから雨季に向けて徐々に降水量が増加するとの予測も出ていますが、特に農業への影響については今後も注視する必要があります。

渇水による影響

渇水による工業、農業への影響は以下の通りです。

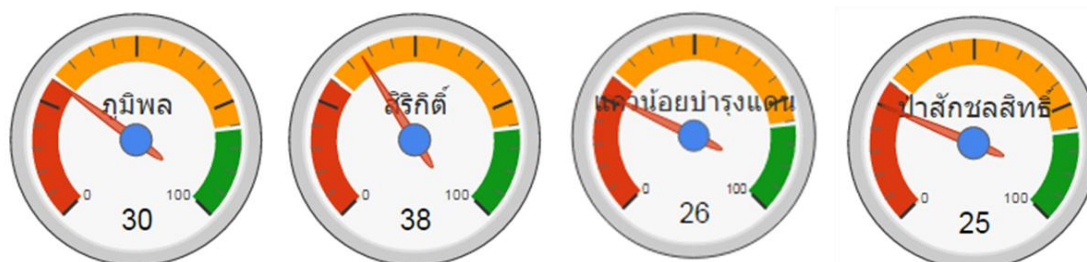
【工業】

各工場は排水の再利用や民間企業からの工業用水の購入等の対策を取っており、渇水の影響は大きくありません。

【農業】

農業は渇水による影響を大きく受けており、野菜、果物、ゴム原料などの収穫量が大幅に減少しました。その結果、野菜や果物だけでなく、豚肉、卵など、多くの食料品の価格が上昇し、飲食料業界に大きな影響を与えています。

ダム水位（チャオプラヤ水系主要ダム）：<http://www.waterforthai.org/th/dam-report>



Bhumibol Dam

Sirikit Dam

Kwae Noi Dam

Pasak Dam

昨年の雨季明けから続く雨不足の影響により、チャオプラヤ水系のダム水位は依然として低く、主要 4 箇所のダムのうち 3 箇所のダムで危険水位に達しています。

当社は昨年 10 月と今年 5 月に、Pasak Chonlasit ダム（上図右端の水位計）と Chao Phraya ダム（タイ中央部への水供給に関して重要な調整機能を持つダム）の状況を調査しました。次ページ以降にそれぞれのダムの写真を示します。いずれのダムも、昨年 10 月と比較して現在の水位が低くなっていることが分かります。

Pasak Dam

Before (October 14th, 2015)



After (May 11th, 2016)



The Chao Phraya Dam

Before (October 13th, 2015)



After (May 11th, 2016): ドローンにて当社撮影

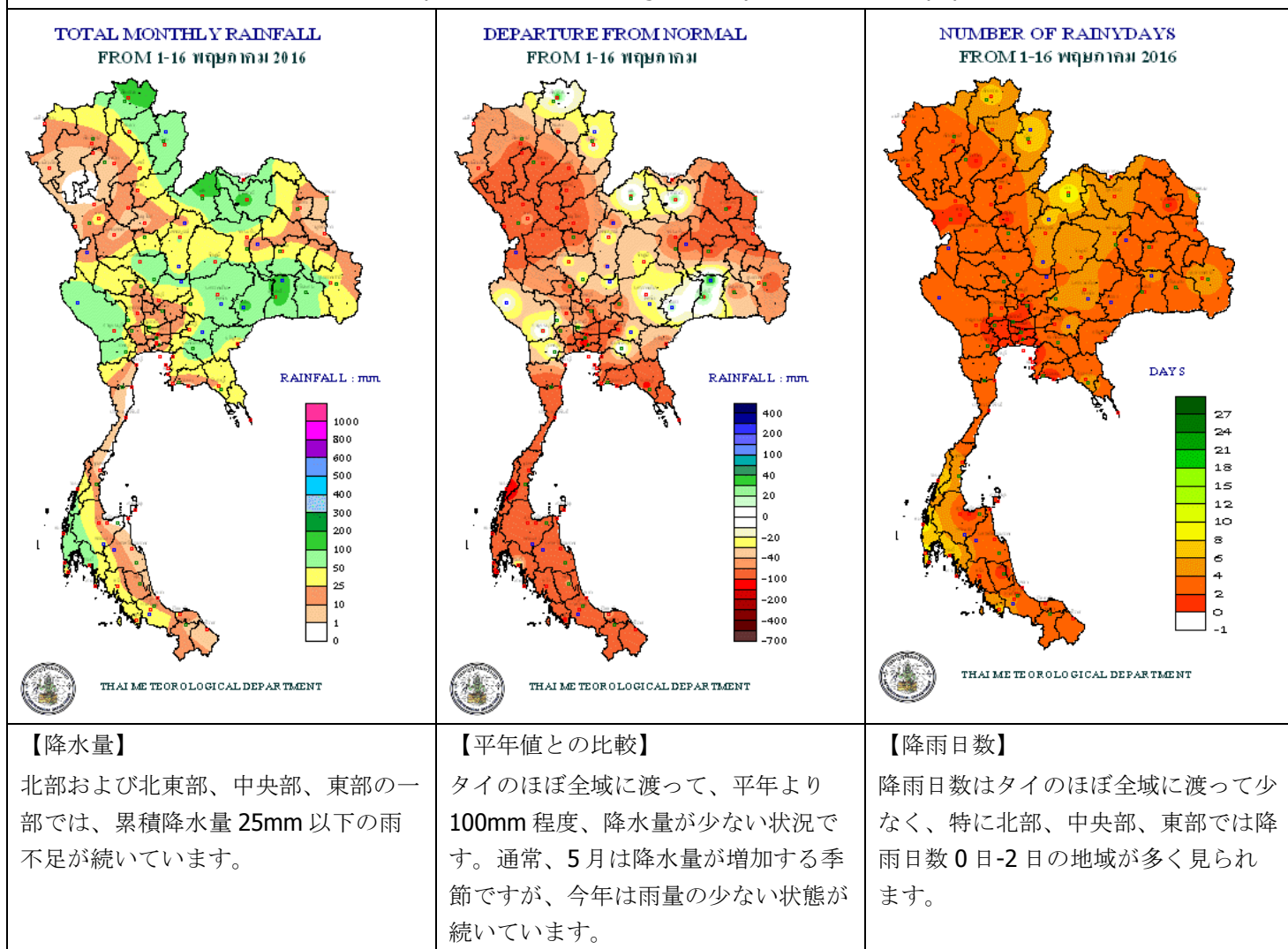


王室灌漑局（Royal Irrigation Department :RID）のコメント

RID はチャオプラヤ水系の渇水対策として実施している水の配給管理計画について 5/4 に声明を発表しました。同水系の主要 4 ダムに貯水されている 17 億 8,500 万 m³ の水について、生活用水、生態系の維持、農業用水のために、7 月末まで 1 日あたり 1,800 万 m³ の供給制限を 7 月末まで継続するとのことです。

今年は南シナ海からの嵐が 2 回到来すると予測されています（去年は 0 回）。また、今年の降水量は、最近 30 年間の平均値を少し上回ると予測されており、ここ数ヶ月の間、貯水量の低下が注目されていたダムの一部では水位が回復する見込みです。

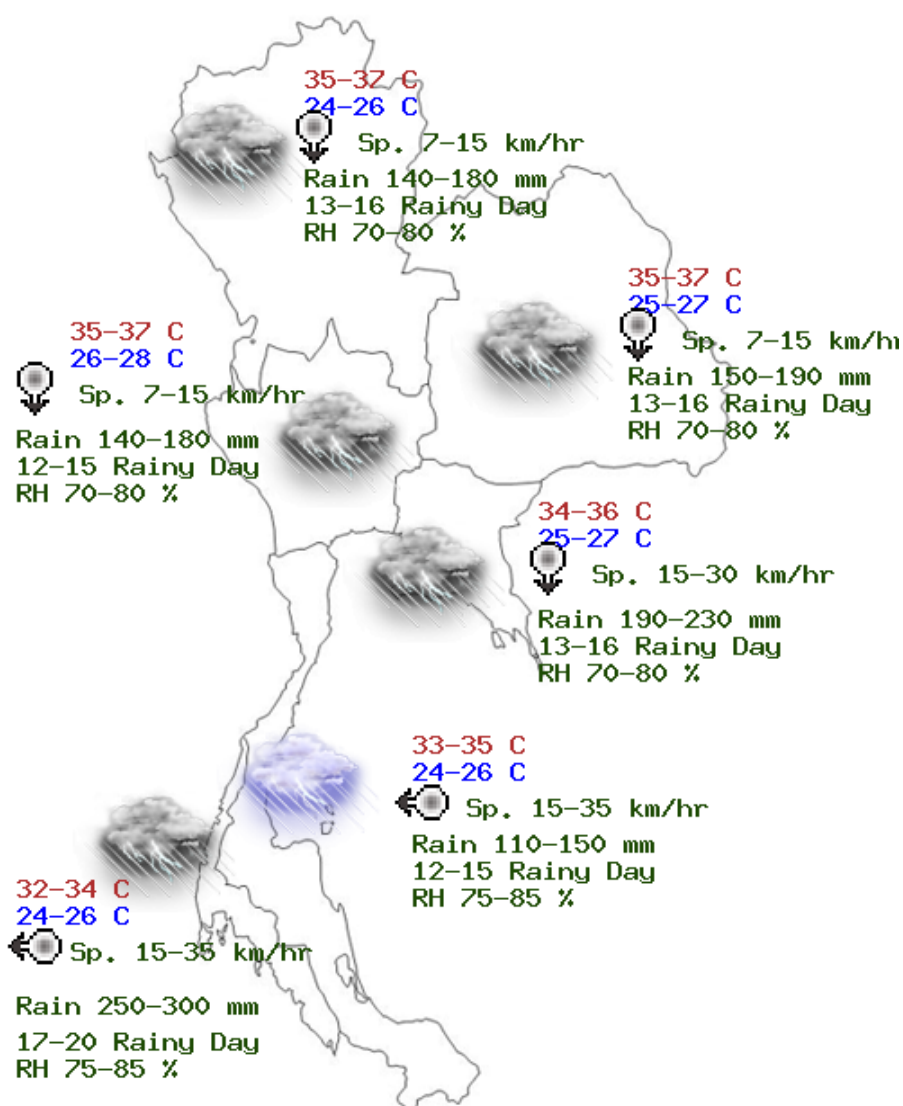
5 月上旬の降水量（5/1～5/16）：<http://www.arcims.tmd.go.th/dailydata/MonthRain.php>



週間天気予報：http://www.tmd.go.th/en/7-day_forecast.php

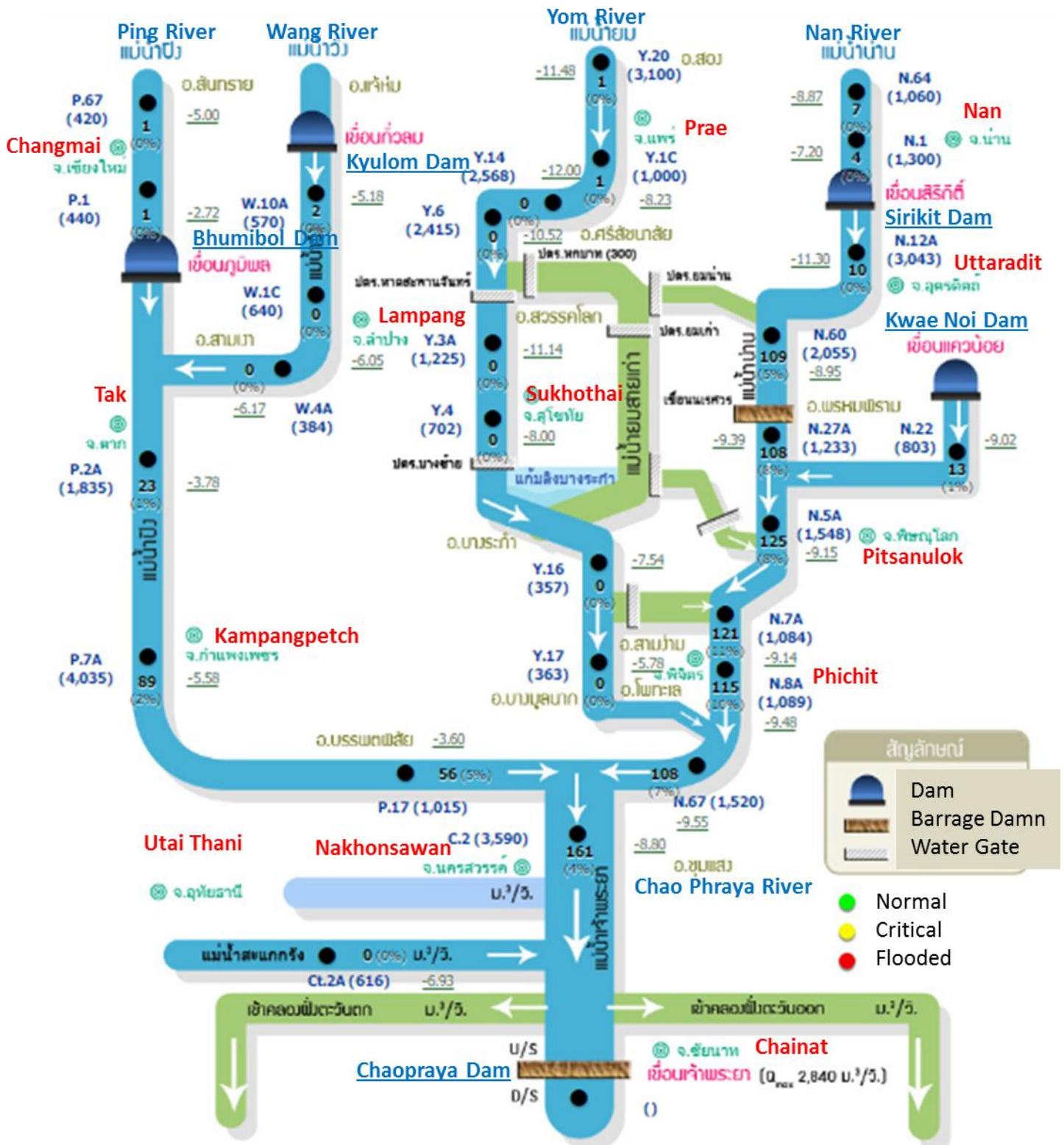
5/19-23 にかけて、タイ北部、中央部、南部でアンダマン海からの風が強くなります。北部、中央部、東部、南部では激しい雨に警戒が必要です。また、アンダマン海、タイ湾北部に停留している船は注意が必要です。

地域	降水量	降雨日数	最高気温	最低気温
北部	140-180mm	13-16day	35-37℃	24-26℃
北東部	150-190mm	13-16day	35-37℃	25-27℃
中央部	140-180mm	12-15day	35-37℃	26-28℃
東部	190-230mm	13-16day	34-36℃	25-27℃
南部（東海岸）	110-150mm	12-15day	33-35℃	24-26℃
南部（西海岸）	250-300mm	17-20day	32-34℃	24-26℃



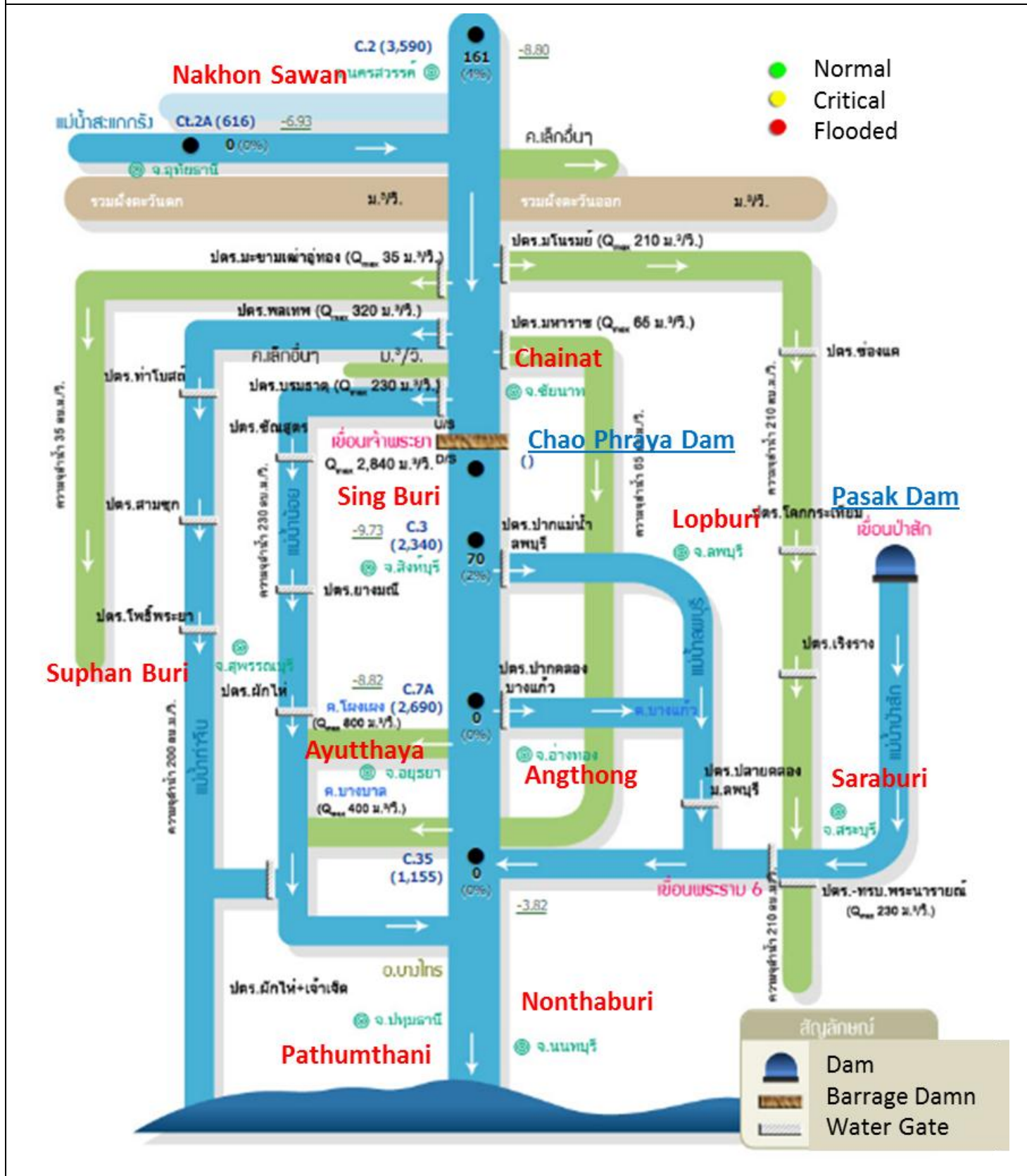
チャオプラヤ水系の河川水位 (チャオプラヤダム上流) : <http://www.waterforthai.org/th/chaophaya>

いずれの河川も水位は低く、一部の場所では満水位の 10%程度となっています。



チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム下流）： <http://www.waterforthai.org/th/chaophaya>

いずれの河川も水位は低く、ほぼ全ての場所で満水位の 10%程度です。



参照

<http://www.bangkokpost.com/news/general/953625/heatwave-set-to-end-as-wet-season-begins>

<http://globalrubbermarkets.com/43000/43000.html>

<http://www.komchadluek.net/detail/20160206/221923.html>

<http://www.ryt9.com/s/tpd/2420173>

http://thainews.prd.go.th/CenterWeb/NewsEN/NewsDetail?NT01_NewsID=WNPOL5905010010005

http://thailand.prd.go.th/ewt_news.php?nid=3100&filename=index

http://www.industry.go.th/center_mng_gad/index.php?option=com_k2&view=item&id=1458

株式会社インターリスク総研は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先 (株)インターリスク総研 総合企画部 国際業務チーム

TEL.03-5296-8920 <http://www.irric.co.jp/>

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立されたMS & ADインシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等へのリスク調査や、BCP策定等の各種リスクコンサルティングサービスを提供させて頂いております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先 : InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.

175 Sathorn City Tower 9th Floor, South Sathorn Road.

Thungmahamek, Sathorn, Bangkok 10120, Thailand

<http://www.interriskthai.co.th/>

Direct: +66-(0)-2679-5276

Fax: +66-(0)-2679-5278

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。

また、本誌は、読者の方々および読者の方々が所属する組織のリスクマネジメントの取組みに役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製／Copyright 株式会社インターリスク総研 2016